

事業項目 (8) 複眼型国土の形成と広域交通・物流ネットワークの整備・強化

事業項目詳細

SMR

複眼型スーパー・メガリージョンの実現に向けた構想具体化と提案の実施

鉄道

リニア中央新幹線の早期全線開業、北陸新幹線の大阪早期開業の推進

道路

関西の高速道路ミッシングリンク解消の推進

空港

関西経済活性化に資する関西圏空港のあり方の検討、関空の利用促進

港湾

阪神港等の関西の国際物流の活性化

国土強靱化

国・地域・企業のセキュリティ向上の促進

主な実施内容

- 国土交通省主催「スーパー・メガリージョン（SMR）構想検討会」（2017年9月発足）に参画。関西のめざす姿やその実現に必要な取り組みについて意見発信した（1月）。関西の魅力・個性の向上や交流を促進するインフラ整備の必要性について訴えた。
- SMRの効果を西日本全域に波及させるために、近畿地方整備局とともに西日本SMR勉強会を開催（6月、11月、3月）。西日本地域の魅力向上、地域・圏域を越えた広域的な連携・交流の実現に向けて意見交換を行った。
- 三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会（12月）、大阪におけるシンポジウム（6月）を開催し、リニア中央新幹線の早期全線開業に向けた機運醸成を行った。
- 政府・与党に対し、北陸新幹線建設促進同盟会等と共同で、大阪までの開業前倒しに向けた要望活動を実施（5月・11月）。また、石川県・福井県における推進大会へ参加した。
- 政府・与党に対し、関西高速道路ネットワーク推進協議会による要望活動を実施（8月・10月）。大阪湾岸道路西伸部や淀川左岸線延伸部をはじめとする事業中路線の予算確保等を求めた。
- 第8回関西3空港懇談会を開催（12月）し、各空港の役割や今後必要な取り組みについて議論を行った。
- 政府・与党に対して、関西空港全体構想促進協議会による要望活動を実施（9月）。要望では関西国際空港の機能向上をはかるため関空アクセスの利便性向上が期待されるなにわ筋線の新規事業採択や、空港分野における人材不足への対応、インバウンドの受入環境の改善等を求めた。
- 国際物流をとりまく急速な変化をふまえ、中長期的な展望に基づいた取り組みを行うべく、産学官による「国際物流戦略チーム」内にワーキンググループを設置して検討した。
- 2017年度関西総合物流活性化モデルのPRセミナーを開催（7月）し、荷主企業等に幅広く周知した。
- 全国の8経済連合会とともに、国土強靱化税制の創設に向け、与党に対して要望活動を実施した（8月）。
- 西日本豪雨や大阪北部地震の影響等に関する会員アンケート調査を実施（8月）。結果を踏まえ、2018年の災害における企業の対応事例等をテーマにしたセミナーを開催した（2月）。
- 各自治体・経済団体等で構成される「南海トラフ地震等に対する緊急防災対策促進実行委員会」の一員として、政府に対して防災・減災対策予算の確保等について要望を実施した（11月）。

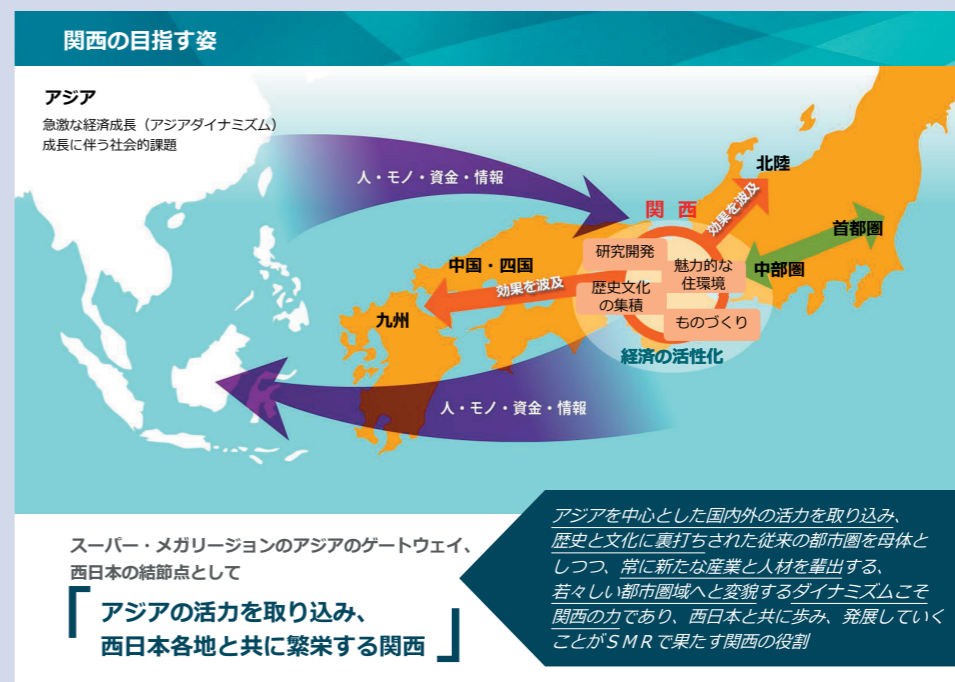
Topics

スーパー・メガリージョン構想検討会における意見発表

リニア中央新幹線開業により、三大都市圏が約1時間で結ばれ、世界を先導するSMRが形成されることが期待されている。その効果を最大化し、全国に波及させるために、国土交通省による「SMR構想検討会」にて、国・地方公共団体・経済団体共通のビジョンの構築に向けた検討が進められている。

2019年1月、大阪市内にて開催された第17回SMR構想検討会にて、委員である八木副会長が関西としての立場で意見発表を行った他、大阪府・市、三重県、奈良県、京都府等の自治体からもSMR形成を見据えた取り組み等について意見発表が行われた。八木副会長は、関西のめざす姿として「SMRのアジアのゲートウェイ、西日本の結節点として『アジアの活力を取り込み、西日本各地と共に繁栄する関西』」を掲げ、関西自身の魅力や個性の向上に取り組むとともに、アジアや西日本との交流を促進するインフラ整備を進めていくと述べた。

今後は、2019年6月頃の見直しに向けて、関西のめざす姿や役割、インフラ整備促進の必要性等が盛り込まれるよう、検討会の場で継続して意見を述べていく。



第8回関西3空港懇談会を開催

2018年12月、第8回関西3空港懇談会を大阪市内にて開催。懇談会の座長を務める当会の松本会長のほか、国土交通省航空局長、関係自治体の首長、関西エアポート社長等が出席した。

本懇談会は、民間による3空港一体運営の実現や航空需要の拡大等により、前回開催した2010年から環境が大きく変化していることを受け、3空港の最適活用について議論するために約8年ぶりに開催したものである。

松本座長は、議論の原則として、「安心・安全の確保」「地域との共存・共栄、環境面への配慮」「利用者利便性の視点」を短・中・長期という時間軸の視点から考えていくことが重要とし、出席者に「関西の活性化を見据えた議論をお願いしたい」と呼びかけた。



関西3空港懇談会